



医師会シンボルマーク

みんなの健康

東京バレエ団 団長

斎藤 友佳理さん

技術も経験も
惜しみなく
伝えていきたい

横浜市医師会

会長 戸塚 武和

みんなの健康 1 2026.1/2

No.310

新春号

新 春 対 談

明けまして、おめでとうございませう。

2026年。21世紀に入り四半世紀となり、世の中はますますデジタル化が加速しています。世界情勢は変わらず不安定ですが、今年こそ世界中に明るい笑顔が増えるようにと願わずにはいられません。

今回、新春対談のゲストにお迎えしたのは、横浜のご出身で現在、東京バレエ団の団長を務められている斎藤友佳理さんです。とても穏やかに優しくお話をされる斎藤さんは、その柔らかい印象からは想像もできないような、強い精神力で逆境を乗り越えてこられました。決してあきらめない姿勢には、励まされる方も多いことでしょう。

横浜愛にあふれた斎藤さんに、生まれ育った横浜のこと、バレエダンサー時代のこと、現在のお仕事のことなどをお話いただきました。

◆医療クローズアップ 「金沢区休日急患診療所」 リニューアルオープン

◆こんな時どうする? 異所性蒙古斑―手背の青いあざ、そのうち消えると言われましたが―



東京バレエ団 団長 齋藤 友佳理 さん

プロフィール●神奈川県横浜市出身。6歳よりバレエを始め、ロシアに短期留学を繰り返す。1987年、東京バレエ団入団。2005年、平成16年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2009年ロシア国立舞踊大学院バレエマスターおよび教師科を首席で卒業。2010年『オネーギン』の舞台成果に対し、横浜文化賞、第27回服部智恵子賞、東京新聞の舞踊芸術賞受賞。2012年秋、それまでの芸術への功績に対し、紫綬褒章を受章。2014年、第63回神奈川文化賞受賞。2015年8月、東京バレエ団芸術監督に就任。2024年9月、東京バレエ団 団長に就任。著書に、ダンサーとして、母として、ひとりの女性としての思いを綴った『ユカリューシャ』（世界文化社・文春文庫）がある。

横浜はホッとできる街

戸塚 齋藤さんは、横浜のご出身なんですね。

齋藤 はい。生まれも育ちも横浜で、現在進行形の横浜市民です。ハマッ子であることが誇りなので、海外でも、日本のどこに住んでいるかを聞かれると、必ず「横浜です」と答えています。

戸塚 幼少期を過ごされたのは、横浜のどの辺りですか。

齋藤 育ったのは、京浜急行・京浜富岡駅（当時）

の周辺です。当時あった富岡幼稚園から、横浜市立富岡小学校に進み、小学4年生までそこで暮らしていました。

戸塚 京浜富岡ですか。実は、私も高校生まで金沢区富岡に住んでいたんですよ。

齋藤 それは偶然ですね。あの辺りは、坂道が多いですよ。我が家は山の頂上にあつたので、自宅近くの広場からは、横浜港が見えたんですよ。年越しとともにブーツ、ブーツ、ブーツと市内に響き渡る、いわゆる「除

夜の汽笛」を聞いて育ちました。

戸塚 その後もずっと横浜市内に？

齋藤 はい。私は長年、東京の目黒にある「東京バレエ団」に所属をしているので、何度となくバレエ団の近くに引っ越すのはどうかという話が出たことがあるんです。しかし、東京と横浜では全く空気が違うんですね。横浜には山があり、海があつて、帰ってくるホッとできるので、一度も東京に引っ越したいと思つたことはないんです。

母が開いたスタジオで

戸塚 バレエを始められたのはいつ頃ですか。

齋藤 当時通っていた幼稚園に、園が終わつてから通えるバレエ教室があり、年長になつてから、母の許しを得て、始めました。最初は園内でレッスンを受けていましたね。

戸塚 お母さまは、東京バレエ団の前身、東京バレエ学校でバレエダンサーをされていた木村公香さんですね。ロシアバレエのメソッドに基づく基礎的なレッスンを娘の友佳理さんに教育されたと伺いましたが。

齋藤 そうですね。母は、私が幼稚園でバレエを始めてほどなくして、私を教えるための小さなスタジオを洋光台で開きました。以来私は、母から指導を受けるようになりました。生徒は1人だけでした。という気持ちで開いたスタジオはその後、生徒さんが増え、のちに港南台に場所を移しました。洋光台で始めてから50年以上経つた現在も、続いています。

戸塚 それは素晴らしいですね。横浜ではバレエが盛んだったのですか。

齋藤 当時は、現在ほどポピュラーではありませんでした。ただ、昔は、日本ツアーをする海外のオペラハウスや劇場は皆、横浜港にやつて来たんですよ。

戸塚 大さん橋に、船でやつてきていた。

齋藤 はい。だから大さん橋近くの、神奈川県民ホールからツアーが始まるんです。その後、日本全国をまわり、最後にまた違うプログラムを県民ホールでやって、横浜港から出て行く。私は皆さ



横浜市医師会 会長 **戸塚 武和** とつか たけかず

んのお見送りをしたことが何度もあるのですが、横浜から西洋の文化芸術が入ってくるからこそ、横浜にはその文化芸術が発展しやすい土壌があるのかな、と感じています。

戸塚 神奈川県民ホールは現在、休館中ですが、世界的なバレエ団が日本ツアーの最初と最後に公演をする舞台だったとは、誇らしいですね。

日本を離れて 気付けたこと

戸塚 高校1年生からソビエト連邦時代のロシア

にバレエ留学をされたのですね。当時は長期の留学が難しかったために2週間の短期留学を15回も繰り返し返されたとか。どのような理由で留学先を決められたのですか。

斎藤 同じタイミングで、イギリスとアメリカとロシアへの留学話があったのですが、イギリスやアメリカは、それなりのお金を出せば優秀で有名な先生に見てもらえる、という資本主義的なところがありました。しかし、ロシアは、どんなにお金を積んでも才能のある人

しか受け入れてもらえないという、大きな違いがありました。だから今、ロシアに行けるチャンスがあるならロシアに行きたい、と留学先をロシアに決めました。バレエと言っても、ロシアとイギリスとアメリカのバレエでは、それぞれ流派が違うということもありまして。

戸塚 そういうもののなのですね。

斎藤 はい。私の母がロシアのバレエを学んでいたのですが、私もまずはロシアのバレエを学びたい、という思いがありました。そこですべてを習得したら、その次はイギリスのバレエもアメリカのバレエもフランスのバレエも学びたいと考えていました。ところが学び始めるとそんなに単純なものではなく、本当に奥が深く、一生かけてもロシアのバレエの全てを体得するのは無理だ、ということ、最近になり、

より一層感じています。

戸塚 なるほど。

斎藤 ですから、もし生まれ変わったら、次の流派も学びたいですね(笑)。

戸塚 留学をされて、何か気付かれたことはありますか。

斎藤 日本で母の指導を受けていた時は、親子でありながら子弟関係であることがとても難しく、何か注意をされても、それを素直に受け入れることができないこともあり、また、しかし一歩、日本から出た時に、母が言っていたこと、母から受けていた指導は正しかったのだということが初めてわかりました。

ダンサー人生の 危機を乗り越え

戸塚 その後、東京バレエ団に入団されて、主役デビューを果たされるも、舞台で大けがをされて大変な苦労をされたそうですね。

斎藤 1996年12月。

五反田ゆうばうとホールでの『くるみ割り人形』

の公演中に舞台で転倒。

立ち上がろうとしても立ち上がれない状態になり、やむなく幕を閉じた

ということがありました。

た。練習中のケガであれば、心の傷はそこまで深

くなかったと思うのですが、2000人近いお客

様の目の前で起こってしまったので、心に負った傷

は深く、現役ダンサーとして、どん底に突き落と

されました。

戸塚 そうでしたか。

斎藤 そのまま救急車で運ばれ、前十字じん帯断

裂と半月板損傷という診断を受けました。医師か

らは、同じ症状で現役に復帰できたスポーツ選手

はわずか3パーセント。

それもマラソンや競輪など、一定方向に膝を動かす競技だけ。バレエのように膝をひねる動きが加わる運動は不可能。つま

技術も経験も惜しみなく伝えていきたい



り、バレエダンサーとしては再起不能だとハッキリ宣告されました。
戸塚 それでも、諦めなかったのですね。

斎藤 今であれば医学が進歩しているので、日本でも治療が可能になりましたが、当時は前例がなかったもので、この病院をまわっても結果は同じでした。しかし、自分の人生を他の人に決めてほしくない。絶対に自分は復帰をしてみせる。将来、私と同じケガをした人たちに自分が前例となり、復帰ができることを証明すると決めて、あらゆる道を模索しました。当時、すでに私はロシア人の夫と結婚をしていたことも

あり、最終的にはロシアで手術を受けました。

戸塚 絶望的な状態の中で、ご自身が最善とされる選択をされて、辛いリハビリを経て復活されたことに敬意を表します。

復帰の舞台は神奈川県民ホールだったんですね。

斎藤 はい。1998年6月、神奈川県民ホールでの『ジゼル』公演です。

本番前は緊張とプレッシャーで、逃げ出したい気持ちでいっぱいでした。

そこで私を救ってくれたのが、楽屋に聞こえてきた、ボーッ、ボーッ、ボーッと鳴る、あの船の汽笛でした。自分を奮い立たせて舞台に出ていくと、幕が開いたとたんに、観客

席から温かい気のようなものを感じました。観客の皆様がとにかく温かく、会場の空気が私を支えてくれたおかげで、まるで自分の身体ではないように最後まで踊りきることができました。

戸塚 それは感無量ですね。

『オネーギン』を最後の舞台に

戸塚 最後の舞台も神奈川県民ホールだったんですね。

斎藤 はい。『オネーギン』という演目でタチヤーナという役を踊りました。

『オネーギン』は、若い頃に、本番直前までいきながら、ある事情で舞台で踊ることが叶わなかった

演目でした。以来、タチヤーナを踊り、自分のものにするという目標が、私の原動力でした。バレエというのは芸術ですから、去り際も大切だと考えています。また、息子に



『オネーギン』©Hidemichi Seto

も「一番いい時、夢を叶えた時に舞台を去るべきだ」と言われていたんです。

それで『オネーギン』のタチヤーナを2010年に東京文化会館と神奈川県民ホールで初めて踊り、2012年に再び県民ホールで踊ったのを最後に、私は舞台を去りました。

戸塚 2010年に『オネーギン』を踊られた際の功績が認められ、「横浜文化賞」をはじめとする賞も受賞されました。

ね。横浜文化賞は横浜市の最高顕彰なんです。その後、紫綬褒章も受賞されたとのこと、本当に素晴らしいですね。

斎藤 ありがとうございます。その賞に恥じないように頑張ろう、と励みになります。

指導者としての喜び

戸塚 斎藤さんは、バレエの指導者を目指して、

ロシアの大学院に行かれたそうですね。

斎藤 30歳を過ぎた頃から自分が学んできたことを、他の人に伝えていきたいという気持ちで芽生え始め、自分ができた時より、教えた相手ができるようになった時のほうが嬉しいかもしれないと感じるようになったのです。自分が3年かけて得たものを、30分で、3分で伝えられたらとても意義のあることだな、と。

それで、37歳から5年間、ロシア国立モスクワ舞踊大学院で学びました。

戸塚 2009年にバレエマスターおよび教師科を首席で卒業されたんですね。素晴らしいです。

斎藤 日本では、大学を出ていても、出ていなくてもバレエの指導者になれますが、一歩外に出ると、世界中どこに行ってもバレエの指導者として就職をしたければ資格が



必要です。まあ、私は今のところ、海外で就職をする予定はないんですけれど(笑)。

戸塚 その後、東京バレエ団の芸術監督を経て、現在は、東京バレエ団の団長という立場でいらっしゃるのとのことですが、どのようなお仕事なのでしょうか。

斎藤 現在、東京バレエ団に所属する85人ほどの団員たち、それぞれの個性を見極め、育てて行くのが仕事です。

戸塚 具体的にはどのようなことをされているのですか。

斎藤 毎日、団員と接点を持ち、団員それぞれにとって、何をすべきかと

いうのを考え、それによってレパートリーの中から上演する作品を選び、そこに向かってリハーサルをしていきます。団員たちを長い目で見て、団員一人ひとりがその時に一番輝ける作品を選びたいので、何年後にはこれを踊らせて、何年後にはこれをやらせて、というようなプランを作ります。

戸塚 バレエダンサーはケガも多いと思いますが、健康面で特に気にかけていることはありますか。

斎藤 ダンサーたちを預かってしていると、捻挫やじん帯損傷、骨折やぎっくり腰など、ケガはもちろん心配なのですが、最近はそのよりも目に見えないメンタルのケアの難しさを感じています。骨折などはレントゲンで状態を見ることができますが、心は見えないからこそ、ダンサーたちをどう救っていくことができるのか。私の課題です。

新年に心底、願うこと

戸塚 私生活ではいかがですか。医師会では、かかりつけ医ということを大切に行っているのですが、斎藤さんはご存じですか。

斎藤 一昨年、自宅で父を看取ったのですが、その時にとてもお世話になりました。特に、病院から父が自宅に戻って来た日は大雪だったんですね。その中を医師と薬剤師とケアの方などのチームのみなさんが素晴らしい連携で支えてくれて、家に戻ってからはわずかな期間だったのですが、医療従事者の方々のお仕事ぶりを目の当たりにして、本当にありがたく、感謝しております。

戸塚 そうでしたか。かかりつけ医は、単に病気を診るだけではなく、健康に関する相談を受け、最新の医学知識を得たう

えで、必要であれば専門医を紹介すること。あとは、斎藤さんがおっしゃられたように介護現場では、看護師や薬剤師など

の他職種と連携をしてお世話をするということが大切に行っています。ひとりの医師が24時間、診られるわけではありませんが、その分を地域という面で支えることを目指しています。

斎藤 それはいいことですね。

戸塚 お母様はお元気でいらっしゃいますか。

斎藤 はい。昨年末で87歳になりましたが、まだ現役で教えています。父のことでふさぎ込んだいた時もありましたが、スタジオに入り、子どもたちのことを見るとスイッチが入るんです。世界中、色々なところをまわると、色々とあらためて、私は母から本当に素晴らしい教育を受けてきたんだということがわかり、それ

が自信になりました。後輩たちにもそれを伝えていきたいですね。

戸塚 最後に今年の抱負をお聞かせいただけますか。

斎藤 今年に限ったことではありませんが、私は常に団員たちには、幸せにバレエという職業を全うしてほしいと思っています。それは簡単なことではありませんが、バレエ以外のことでそれぞれが人生に寄り添っていかれたらいいな、と思っています。あとは、やはり大きなところで考えると、世界が平和になつてほしい、ということとを心の底から願っています。

戸塚 そうですね。バレエを通じて世界が平和になると、さらにいいですね。今日は色々とお話聞かせていただき、ありがとうございます。ますますのご活躍をお祈りしております。

「金沢区休日急患診療所」リニューアルオープン

待ち時間のストレスを軽減、診察室にもゆとり

2025年10月、金沢区休日急患診療所が建て替えを終え、元の場所です診療を再開しました。新システムの導入により診察等の順番を確認できるようになったほか、診察室が広くなりプライバシーへの配慮も向上。車椅子で利用できるトイレも設け、より多くの方が気持ちよく利用できる施設となりました。金沢区の医師会、歯科医師会、薬剤師会で構成される「三師会」が運営しているため、歯科診療も行っています。金沢区医師会の河合敏会長と金沢区三師会の河本和行会長にお聞きしました。



金沢区医師会 河合 敏 会長
金沢区三師会 河本 和行 会長

さまざまななかたに
気持ちよく利用を

河合 新しい診療所では待ち時間のストレス緩和のため、待合室のモニターで診察や会計、薬の順番を表示しています。受付番号票の二次元コードをスマートフォンで読み込めば、あと何番で呼

ばれるか分かるので、車で待つ際も安心です。

ホームページからも待ち人数等を確認できます。

河本 診察室の広さは倍

くらいになり、壁でしっかり区切られてプライバシーへの配慮が向上しました。新システムの導入とあわせ、患者さんには気持ちよく利用していただけにいるようです。

河合 車椅子で利用できる

トイレも新設しました。2階には在宅医療相談室があり、エレベーターで行き来できます。また、駐車場を広げ23台分を確保。新興感染症に

備え、駐車場から直接入れる部屋も設けました。

三師会 による

診療体制

河本 金沢区医師会は同

歯科医師会、同薬剤師会と合同で金沢区三師会という団体をつくり、地域の医療・保健・福祉のため一体となって活動しています。当診療所も金沢区三師会による施工・運営です。

河合 ですから内科、小

児科、輪番での耳鼻咽喉科に加え、歯科診療も行っています。診療時間は日曜・祝日と年末年始の午

前10時から午後4時（受付は9時30分から）です。

*歯科診療時間は最終ページ参照

建築費の一部は

クラウドファンディング

河合 今回の建て替えに

あたっては、建築費が高騰し当初の想定を上回ったため、クラウドファンディングで寄付を募りました。

三師会関係者のほか、市民の皆さまのご協力もあり、約340万円ものご寄付をいただきました。

河本 無事完成でき、心から感謝しています。

災害時への備え

河合 屋外に、炊き出し

用のかまどとして利用できる「かまどベンチ」2基を設置。敷地内のマンホールは、災害時に簡易トイレとして使える設計です。電気自動車

を非常用電源に



金沢区金沢町48
045-782-8785
*地図は最終ページ参照



待合室には、モニターを設置

利用するしくみも整備しました。

河本 小高い立地なので、津波が発生しても活動を継続できます。

区民の皆さんへ

河合 当診療所は横浜市立大学の小児科の先生にもご協力いただいています。休日に体調が悪くなったら気軽に受診してください。予約不要です。

河本 建物2階の前面に描かれているたくさんの方の輪は、医師、歯科医師、薬剤師の三師の輪が地域とつながることを表しています。今後も三師が連携し、地域に貢献していきます。

鏡餅再考

お正月は日本で一年の始まりを祝う最も大切な行事です。家々では門松やしめ飾りを飾り、新しい年の幸福と繁栄を願います。その中でも鏡餅は欠かせないお正月の飾りです。鏡餅は丸い餅を二段に重ね、その上に橙をのせた形が一般的で古くから神聖な食べ物として尊ばれてきました。丸い形は円満を、大小二段重ねは福が重なる、円満に年を重ねる、または太陽と月、過去と未来をつなぐ等という意味を持ちます。昔の青銅製の丸い鏡と形が似ていることから鏡餅といわれるようになった様です。また、橙は代々栄えるという願いが込められています。鏡餅は穀物神である年神様をお迎えし、その神様へのお供え物として飾られます。お正月が終わると鏡開きを行い感謝の気持ちを込めて餅を食べます。これには力を頂き、新しい一年を健康に過ごすという意味があります。鏡餅は日本人の心に根づく、感謝と祈りの象徴と言えるでしょう。

忘れがちな大切な風習を思い出し、皆様の一年の健康を祈念致します。

ぽかぽか



「みんなの健康」
ご感想をお寄せください。
◀ 詳細はこちら

こんな時どうする

異所性蒙古斑 —手背の青いあざ、そのうち消えると 言われましたが—

横浜市皮膚科医会 やま だ ひろみち 山田 裕道 先生
沢野クリニック皮膚科

生まれた時から右手の甲に直径1cmくらいの青いあざがあります。成長とともに消えていくと言われましたが5歳になっても消えませ

ん
それは異所性蒙古斑でしょう。新生児のおしり以外にみられる青色〜灰青色斑で自然消退傾向があります。色調の濃いものや広範囲のもの、境界がはっきりしないものは色が残りやすいといわれています。

治療方法はありますか

レーザー光線で治療す

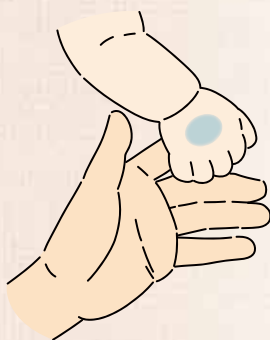
ることが出来ます。異所性蒙古斑は皮膚のやや深いところにメラニンが存在するために青くみえる疾患です。従ってメラニンに吸収される波長を有するルビーレーザー、アレキサンダライトレーザー、Nd:YAG（エヌディーヤグ）レーザーなどを使って治療することが出来ます。しかもメラニンだけを壊し、その周辺の組織には影響を与えないために、照射時間がナノ秒（10億分の1秒）という極めて短い時間の照射ができる装置でなければなりません。これをQス

イチレーザーといいます。10歳まで自然消退を待って、それでも消えなければレーザー治療を開始するといいでしょう。病変が露出部位で目立つたり、残存が見込まれる場合は早期にレーザー治療を開始することもあります。

何歳になったらレーザー治療を受けられますか

レーザー治療は医療保険が効きますか
異所性蒙古斑のレーザー治療は保険適応になっています。

まずはお近くの皮膚科・かかりつけの皮膚科でご相談いただき、必要に応じて異所性蒙古斑を治療できるレーザー機器を所有する医療施設を紹介してもらうといいでしょう。



休日・夜間に急病になった場合は

休日の昼間はこちらへ

内科・小児科 診療時間：午前9時～12時 午後1時～4時
青葉区休日急患診療所 ☎(045)973-2707

内科・小児科・※歯科 診療時間：午前10時～午後4時
金沢区休日急患診療所 ☎(045)782-8785
※但し、歯科については5月連休・年末年始を除いて、午前10時～正午まで

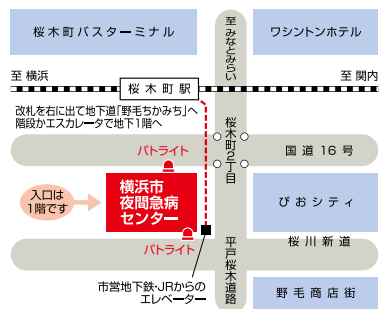
| 内科・小児科 診療時間：午前10時～午後4時 | | | |
|------------------------|----------------|--------------|----------------|
| 旭区休日急患診療所 | ☎(045)363-2020 | 都筑区休日急患診療所 | ☎(045)911-0088 |
| 泉区休日急患診療所 | ☎(045)806-0921 | 鶴見区休日急患診療所 | ☎(045)503-3851 |
| 磯子区休日急患診療所 | ☎(045)753-6011 | 戸塚区休日急患診療所 | ☎(045)861-3335 |
| 神奈川区休日急患診療所 | ☎(045)317-5474 | 中区休日急患診療所 | ☎(045)622-6372 |
| 港南区休日急患診療所 | ☎(045)842-8806 | 西区休日急患診療所 | ☎(045)322-5715 |
| 港北区休日急患診療所 | ☎(045)433-2311 | 保土ヶ谷区休日急患診療所 | ☎(045)335-5975 |
| 栄区休日急患診療所 | ☎(045)893-2999 | 緑区休日急患診療所 | ☎(045)937-2300 |
| 瀬谷区休日急患診療所 | ☎(045)360-8666 | 南区休日急患診療所 | ☎(045)711-7000 |

毎日の夜間はこちらへ

横浜市夜間急病センター ☎(045)212-3535
内科・小児科・眼科・耳鼻科：午後8時～午前0時
横浜市北部夜間急病センター ☎(045)911-0088
都筑区休日急患診療所1階 内科・小児科：午後8時～午前0時
横浜市南西部夜間急病センター ☎(045)806-0921
泉区休日急患診療所 内科・小児科：午後8時～午前0時

かながわ救急相談センター #7119
または ☎045-232-7119
①救急電話相談 24時間年中無休
②医療機関案内 24時間年中無休
横浜市歯科保健医療センター ☎(045)201-7737
休日・夜間救急歯科診療 休日診療：午前10時～午後4時 夜間診療：午後7時～11時

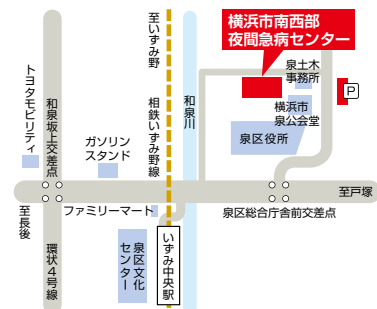
横浜市夜間急病センター
☎045-212-3535



横浜市北部夜間急病センター
☎045-911-0088



横浜市南西部夜間急病センター
☎045-806-0921



午前0時以降における 初期救急診療は

※受診する際は、必ず事前に電話確認してください。

| 小児科（小児救急拠点病院） | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 都筑区 | 昭和医科大学横浜市北部病院 | ☎(045)949-7000 |
| 港北区 | 横浜労災病院 | ☎(045)474-8111 |
| 鶴見区 | 済生会横浜市東部病院 | ☎(045)576-3000 |
| 神奈川区 | 横浜市民病院 | ☎(045)316-4580 |
| 戸塚区 | 国立病院機構横浜医療センター | ☎(045)851-2621 |
| 中区 | 横浜市立みなと赤十字病院 | ☎(045)628-6100 |
| 港南区 | 済生会横浜市南部病院 | ☎(045)832-1111 |

| 内 科 | | |
|-----|-----------|----------------|
| 鶴見区 | 汐田総合病院 | ☎(045)574-1011 |
| 西区 | けいゆう病院 | ☎(045)221-8181 |
| 旭区 | 横浜旭中央総合病院 | ☎(045)921-6111 |
| 磯子区 | 汐見台病院 | ☎(045)761-3581 |
| 港北区 | 菊名記念病院 | ☎(045)402-7111 |
| 緑区 | 横浜新緑総合病院 | ☎(045)984-2400 |
| 青葉区 | たちばな台病院 | ☎(045)962-3338 |
| 青葉区 | 横浜総合病院 | ☎(045)902-0001 |
| 戸塚区 | 戸塚共立第1病院 | ☎(045)864-2501 |
| 戸塚区 | 戸塚共立第2病院 | ☎(045)881-3205 |
| 戸塚区 | 東戸塚記念病院 | ☎(045)825-2111 |
| 泉区 | ゆめが丘総合病院 | ☎(045)803-1601 |

金沢区休日急患診療所 移転のお知らせ

10月5日から下記へ移転しています

横浜市金沢区金沢町48番地
TEL：045-782-8785

診 療 日：日曜、祝日、12月30日～1月3日
診療科目：内科・小児科
診療時間：午前10時～午後4時
※歯科 午前10時～12時
(5月連休・年末年始 午前10時～午後4時)



求人求職 ポータルサイト「EnnPath」始動！

“エン”で見つけるわたしの未来

横浜市医師会は、「自分の理想の働き方や生き方を叶える“縁”を見つける」をコンセプトに求人求職ポータルサイト「EnnPath」(エンパス)を開発します。

事前登録開始：令和7年11月27日(木)
サイト運営開始：令和8年1月29日(木) (予定)



概要と事前登録はこちら